



2016年4月20日（水曜日）

20周年記念ハイク：熊野古道を歩く④（大門坂～那智山）

～Report by 石井（photo by 参加者のみなさん）

4日目、いよいよ最終日である。本日のプランは、紀伊勝浦駅からバスで大門坂駐車場まで行き、大門坂から青岸渡寺・熊野那智大社・那智大滝をめぐり、その後バスで紀伊勝浦駅へ戻り、駅前のマグロ専門店で「マグロ尽くし」のランチを食す予定だ。今日のコースは熊野古道の観光的な人気No.1のルートで、旅の締めくくりとしては、那智大滝の景観がハイライトとも言えるだろう。ワイドビュー南紀にて名古屋・新幹線で帰路に就く。

本日の基本プラン・行程4時間25分 歩行距離：2.5K コースタイム57分



今日の天気も良さそうだ



ホテルの「駅裏食堂」で朝食だ。

この界隈の宿の中では、6:30に食べられるのがありがたい

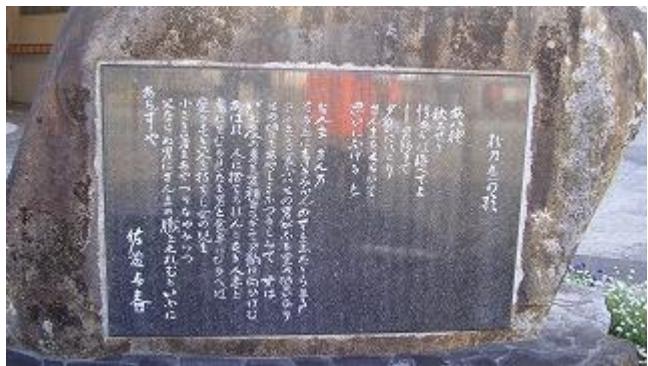


「生マグロ尽くし」のランチと、帰りの列車を意識して早朝の出発となる

今日も駅中のコインロッカーにザックを預けて、サブでの軽量歩きだ



駅前で出発前の記念撮影



佐藤春夫「秋刀魚の歌」の碑があった



20分程で大門坂駐車場に着くと、「なでしこジャパン」のモニュメントがあった
日本代表チームのユニフォームに入っている「ハズクのマーク」にちなんだものであるのだろう



宮間・宇津木選手の足型



澤選手の足型



GKは手形だ：海堀・山郷選手



山の様相がやわらかく感じられる



杖突おじさんがいる。お疲れ気味か？



ここから大門坂だ、この先に鳥居と参道が見えている。森が鬱蒼としている
大門坂は、通行税を取る為の関所に、大きな門があったことから、大門坂と言われるようになった



入り口にある「夫婦杉」。両サイドは壁などではなく杉の幹だ。下の中央の写真で太さが判ると思う



九十九王子最後の「多富貴王子」跡がある。これにて王子巡りも終了だ



ここは巨樹が多い、樹齢800年の大楠だ



大楠を見上げる

石段の参道が続く。燈籠や町石（約109mごとに設置されている）がある



天気が良いので、木漏れ陽の陰影がくっきりして来た



大門坂の石畳は古色蒼然として、昔のままなのだろうか、手が加えられていない感じだ



「十一文關」跡とある。通行料は、今の時代の金額で大体¥200ぐらいのようだ



大きな切り株で遊んでみた。トトロの世界だ



大門坂も終わり、那智山の参詣道に入ってきた。近くの山は自然林に近い感じだ

パンフレットには那智山の原始林とも書かれており、この辺りの秋は紅葉が美しいのかも知れない
熊野の人工林の多さを目にしてきたので、新鮮に感じてしまう



那智山の聖域が近付いて来た。左奥には熊野那智大社があるはずだ



神仏習合の典型的のような景観だ。最初は青岸渡寺に参拝する。天台宗の古刹で西国巡礼の一番札所だ



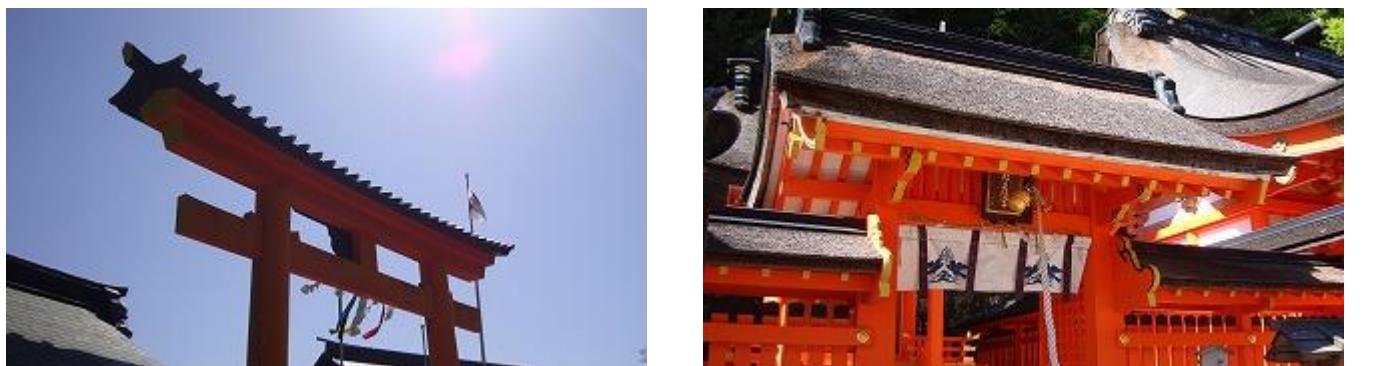
山門をくぐると境内に入る



正面から見る青岸渡寺。堂中は撮影禁止だが、御朱印を戴くことをいいことに撮らせて貰えた



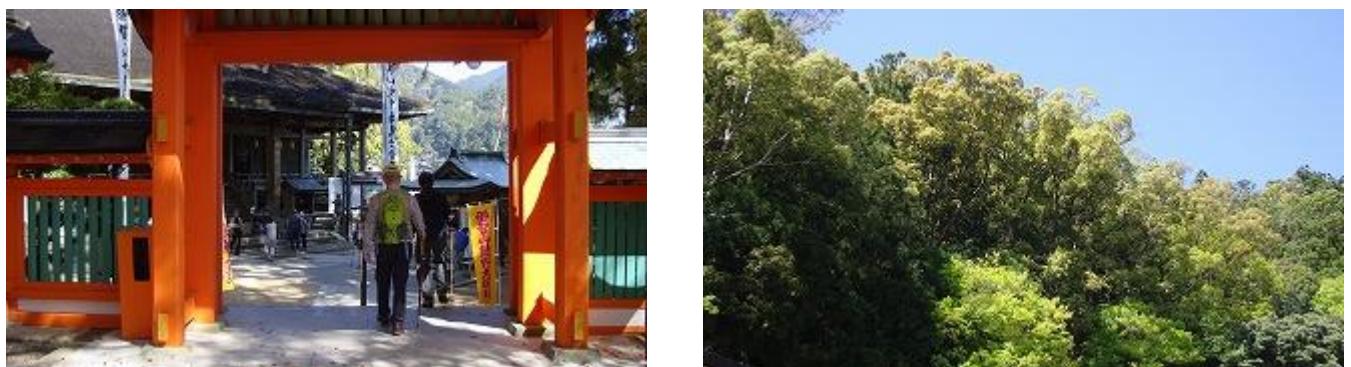
次に詣でる熊野那智大社の入り口だ、丹が晴れ渡った空に映えている



鳥居の向こうの太陽がまぶしく輝いている。本殿は塗り替えたばかりの様で、朱の色が目に染みる



境内は速玉大社と同じような感じだった



山門に戻り三重塔～那智大滝へと向かう

メンバーは那智大社に参らず、青岸渡寺から大滝の方へ行こうとしており、暫く那智大社で待ちぼうけはるかに見えるだけの「那智大滝」だが、インパクトが強いのだろう



本日のハイライト、「那智大滝」へと向かう。この景観は五感に響くものがある



大滝へ向かう途中で「三重の塔」が出迎えてくれた。京都の寺社仏閣から受ける印象に近いいい眺めではあるのだが、昨日までの古道の雰囲気から変わって、何かしら人工的なものを感じてしまう



更に進むと、遠目に那智大滝が見えて来た。辺りに溶け込んでしまった風景だ



飛瀧神社（ひろう）神社の鳥居



落差：133m・銚子口の幅：13m（滝が注ぐ最初の所）・滝壺の深さ：10m



漢詩だと思うが見損ねた



滝壺方向へ下ると水の響きが聞こえて来た。大滝が見え隠れする



那智の御瀧である（御瀧・大滝・大瀧・飛瀧と、ややこしい）





実際に見せできないのが残念だが、この時期、水量豊富で滝壺に落ちる水の音がいい
圧するほどではなく、程よい轟音なのだ、意外だった・・・
シンプルで圧倒的な造形には、時として自然の中に「なにごとか」を感じてしまう

これにて熊野三山詣を終えた



熊野本宮大社



熊野速玉大社



熊野那智大社



熊野三山の牛黄神符揃い踏み・平安時代から江戸時代にかけて起請文に使われたりもしたようだ
今はお守りの様に使われているのか、昨夜の「いちりん」でも額に入れて壁に掛けられていた



滝前バス停で休憩中



ゆっくり散策しても、出来れば目標の10：11発の紀伊勝浦駅行きに乗れました



紀伊勝浦は、「生まぐろの水揚げ高・日本一の町」である



漁港と海岸を散歩してみた



漁協の水揚げ場



勝浦漁港船着き場



海岸には足湯もあったりして・解説版に、温泉は大陸のプレートの衝突で生まれるとあった



町のいたるところにマグロのお店がある



本日、旅の締めくくり・お約束の「生マグロ尽くし」ランチはここです



大和おつくり定食

松延さん・能勢さん・吉松さん・石井

いずれも、マグロの様々な部位のお刺身が楽しめる内容で、そのほか胃袋煮・冷奴・漬物・みそ汁付き
おつくりには、まぐろのバター炒めもついているのです



絶品特製大和丼

堀さん・根岸さん



ここでも、モグもぐ・ぱくぱく・黙・もく・・・



あとは、皆さんお土産を買い込み



紀伊勝浦駅・12:24 ワイドビュー南紀6号にて一路名古屋へ
16:10・名古屋駅到着

車窓の熊野灘が初夏の色だ



名古屋駅・16:27 ひかり526号 能勢さん・松延さん・堀さん・吉松さん・根岸さんを見送る



名古屋駅・17:27 ひかり528号 石井は小田原に停車する列車を利用 待ち時間あり
「きしめん」ではなく、山本屋の名物「味噌煮込みうどん」を食べて、帰途につきました

3泊4日、それぞれのコース毎に、「個性を持った熊野古道」の旅でした。
クマさん会20周年記念行事・「熊野古道を歩く」・・・無事終了です。